

15:1 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫です。

15:2 わたしの枝で実を結ばないものはすべて、父がそれを取り除き、実を結ぶものはすべて、もっと多く実を結ぶように、刈り込みをなさいます。

15:3 あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことによって、すでにきよいのです。

15:4 わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。

15:6 わたしにとどまっていなければ、その人は枝のように投げ捨てられて枯れます。人々がそれを集めて火に投げ込むので、燃えてしまいます。

15:7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。

15:8 あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになります。

聖霊によってイエス様と一つになる生き方は、ぶどうの木のようなもので、イエス様は分り易く教えてくださいます。

それは第一に、神とつながっているということです。「枝がぶどうの木にとどまっていなければ」とあるように、イエス様から離れては「何もすることが」できません。生き方、祈り、みことばによってイエス様とつながり続けましょう。

第二に、「実を結ぶ」ということです。私たちクリスチャンはただ歩んでいけばよいのではなく、実を結ぶために生きているのです。それは救いの実であり、聖霊の実です。すなわちこの世の人々が救われることと、私たちの内面が愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自省で満ちることです。

第三に、「刈り込み」があるということです。人間の願いが何もかも実現するということは不可能です。中にはみこころに反するものもあります。主のハサミが入ることには恐れも感じますが、それは、よりすばらしい実に集中することによって、よい結果がもたらされるためです。安心して主にお任せしましょう。主から見て、必要がないと思われるものは信仰によって手放しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

